

日本生物学的精神医学会理事会議事録

武田雅俊（理事長）

日本生物学的精神医学会理事会議事録

日 時：2011年5月20日（金）8：00～13：00

場 所：東京ベイ有明ワシントンホテル

3階 「カトレア」

（〒135-0063 東京都江東区有明3-7-11）

出席者：20名

武田雅俊（理事長）、大久保善朗、笠井清登、佐野輝、白川治、福田正人、山脇成人、加藤忠史、加藤進昌、小山司、曾良一郎、本橋伸高、米田博（以上理事）、岩田仲生、大森哲郎、神庭重信、岸本年史、鈴木道雄、西川徹、村井俊哉（以上新理事）

欠席者：5名

尾崎紀夫、染矢俊幸、平安良雄（以上理事）、松岡洋夫、渡辺義文（監事）
（順不同、敬称略）

議 題：

1. 前回（2010/10/18）理事会議事録承認について
2. 理事長報告
3. 第32回年会決算報告（武田理事長）
4. 新役員選出の件
 - 1) 役員選挙結果（小山総務委員長）
 - 2) 役割分担について（武田理事長）
5. 会計報告（米田理事、染矢理事）
 - ① 2010年度決算報告
（2010年1月1日～12月31日）
 - ② 2011年度予算案
（2011年1月1日～12月31日）
6. 会員数および新入会員に関する件（小山理事、大久保理事）
7. 各委員会報告
 - 1) 総務委員会（小山理事、大久保理事）
 - 2) 広報委員会（山脇理事）
 - 3) 財務委員会（米田理事、染矢理事）
 - 4) 国際交流委員会（平安理事、武田理事）
 - 5) 学術賞委員会（加藤（忠）理事）
 - 6) 倫理委員会（本橋理事、白川理事）
 - 7) 将来計画委員会（加藤（進）理事、笠井理事）

8) 関連学会対応委員会（佐野理事）

9) 編集委員会（曾良理事、福田理事）

10) ブレインバンク設立委員会（加藤（忠）理事）

11) 研究推進ワーキンググループ（加藤（忠）理事、笠井理事）

12) うつ病対策ワーキンググループ（加藤（忠）理事）

8. 学会賞選考の件（加藤（忠）理事）

9. 国際学会発表奨励賞選考の件（加藤（忠）理事）

10. WFSBP報告（平安理事）

11. 新評議員選任の件（小山理事）

12. 第33回年会準備状況報告（加藤（進）会長）

13. 第34回年会について（米田次期会長）

14. 第35回年会（WFSBP 2013）について（尾崎次々期会長・武田理事長）

15. その他

1. 前回理事会（2010/10/07）議事録承認について
議事録（案）が配布された。特に訂正箇所なく承認された。

2. 理事長報告（武田理事長）

武田理事長より、挨拶があった。

東日本大震災の被災者に対し、黙祷が捧げられた。

この度の大震災に対して、同日開催予定であった日本精神神経学会学術集会が延期されたが、本学会の規模・性格などを考慮の上、予定通り開催されたことが報告された。

また、東北地域の代表として曾良理事より、現状の報告など挨拶された。

3. 第32回年会決算報告

武田理事長より、第32回年会決算について資料に基づき説明された。収入は参加費などで28,839,678円であり、参加者の内訳は会員：290名、非会員：274名、学生：36名であったことなどが報告され、承認された。

4. 新役員選出の件

総務委員会（小山委員長）報告として、大久保理事より以下の通り選挙結果の報告があった。

1) 理事選挙結果報告

1月20日に開票を行い、開票結果と理事長との討議により以下の通りの新理事を選出したことが報告された。

岩田 仲生（愛知県）

大森 哲郎（徳島県）

神庭 重信（福岡県）

岸本 年史（奈良県）

鈴木 道雄（富山県）

西川 徹（東京都）

村井 俊哉（京都府）

また、監事について理事長との討議により以下の2名が選出されたことが報告された。

松岡 洋夫（宮城県）

渡辺 義文（山口県）

以上の結果については、既に持ちまわり理事会で認められているが、改めて承認された。

2) 役割分担について

各理事の委員会等役割分担について、検討され、以下の通り決定された。

総務委員会 委員長 大久保善朗

委員 大森 哲郎

国際交流委員会 委員長 尾崎 紀夫

委員 神庭 重信

将来計画委員会 委員長 笠井 清登

委員 岩田 仲生

関連学会対応委員会 委員長 佐野 輝

倫理委員会 委員長 白川 治

委員 鈴木 道雄

財務委員会 委員長 染矢 俊幸

委員 岸本 年史

編集委員会 委員長 福田 正人

委員 村井 俊哉

広報委員会 委員長 山脇 成人

委員 岩田 仲生

学術賞委員会 委員長 西川 徹

また、アドホックの委員会について、担当理事を以下の通り決定された。

ブレインバンク設立委員会

尾崎 紀夫理事

研究推進ワーキンググループ

初期の目的を達したので解散する。

うつ病対策ワーキンググループ

神庭 重信理事

WFSBP ワーキンググループ

武田 雅俊理事長

5. 会計報告（米田理事）

1) 2010年度決算について

収入11,501,302円に対し、支出14,170,664円であり、赤字ではあるが、適正に運営されていることが報告された。本年度は委員会活動が活発であり会議費がかかったことなど活発な活動の結果であるので、赤字は認められるとの指摘があり、承認された。次期繰越金は25,251,012円である。

2010年度決算は松岡、渡辺両前監事により監査され、適正に処理されていることが認められたことが報告され、承認された。

2) 2011年度収支予算案について

前年度の実績を踏まえて、予算収入は15,435,000円に対し、支出17,993,000円として計上していたが、国際若手交流プログラム費用510,000円が本年度は震災のため中止となり不要であること、うつ病対策ワーキンググループ活動において、3学会合同シンポジウム開催費用として300,000円を計上することが指摘され、支出17,783,000円として、承認された。

また、予算案について、評議員会を開催する学術集会の開催時期に変動があるため、9月などになった場合、会計年度が半年以上経過してから予算案計上となる場合があり不適切との指摘があった。秋季に学術集会が開催される場合には、半年前に開催される理事会にて予算計上することが提案され、了承された。

6. 会員数および新入会員に関する件（小山理事）

1) 会員異動報告

2011年4月30日現在で1,686名の会員がいることが報告された。

内 訳：名誉会員 10名

評議員 223名

正会員 1,399名

賛助会員 3社

2) 新入会員の報告

新入会員67名が報告され、承認された。

評議員の推薦書のない仮入会者の扱いにつ

いて、総務委員会あるいは理事長による確認で正会員とすることとなった。また、Web上での確認方法について継続審議となった。

3) 物故者について

以下の通り、物故者について報告された。評議員会にて黙祷が捧げられた。

遠藤 俊吉 (多摩中央病院) 2009年逝去

関 昌家 (金沢大学) 2010年4月27日逝去

塩江 邦彦 (青梅市立総合病院) 2010年8月逝去

中畑 則道 (東北大学) 2010年10月27日逝去

7. 各委員会報告

1) 広報委員会

山脇委員長より、ホームページのリニューアルについて見積およびプレゼンテーションによる業者の選定を行い、ノートコード社に決定したことが報告された。

また、リニューアル後のホームページのイメージデザイン案が提示され、承認された。

また、英語ページなどの作成を通じて世界への情報発信を企図していることなどが報告された。ロゴマークがあったほうが良いなどの指摘もあり、引き続き検討し推進することとなった。

2) 国際交流委員会

武田理事長より、主にWFSBPに関する報告となるので、WFSBP報告の際に報告されることが述べられた。

3) 倫理委員会

本橋委員より、前委員会で設置が決定された利益相反委員会について、指針と規定(案)の作成、および委員会編成を行ったことが報告された。なお、委員会構成は以下の通りとなる。

委員長 白川 治 (理事)

鈴木 道雄 (理事)

井上 猛 (評議員)

稲垣 正俊 (評議員)

石井 麦生 (外部委員・弁護士)

利益相反に関する指針と規定について検討され、運用に関しては他学会の動向などを検証する必要があることが指摘され、継続

的に審議されることとなった。

4) 関連学会対応委員会

佐野委員長より、第54回日本神経化学会において、「うつ病の分子的基盤」をテーマとして合同シンポジウムを開催することが報告された。

5) 編集委員会

曾良委員長より、機関誌の発刊状況として第22巻1号まで発刊されたこと、原稿依頼および投稿の状況などについて報告された。また、A4判に判型を変更したことで、編集上のレイアウトに余裕ができ、読みやすくなったこと、J-Stageへの掲載状況について、第20巻4号まで掲載されていることなどが報告された。

福田委員より、機関誌の在り方について提議され、2013年の京都大会までは紙媒体を維持し、その後については、以降に検討することが確認された。

6) ブレインバンク設立委員会

加藤(忠)理事より、ブレインバンク倫理指針検討委員会において、倫理指針を策定し評議員会に答申する予定であることが報告された。なお、この指針については日本精神神経学会でも確認中である。また、ブレインバンク実施委員会を開催したことが報告された。「脳バンク 精神疾患の謎を解くために」をブレインバンク設立委員が執筆し刊行したことが報告された。

7) 研究推進ワーキンググループ

加藤(忠)委員長より、精神疾患の研究費の増額について文部科学省などに働きかけた結果、「脳科学研究推進プログラム」の枠内で「精神疾患の克服を目指す脳科学研究」として発達障害、うつ病、認知症にそれぞれ3億円の研究費がつくこととなったことが報告された。

8. 学会賞選考の件

第19回日本生物学的精神医学会学術賞受賞者について以下の通り受賞者が報告された。

授賞式は5月21日18:30よりホテルグランパシフィック LE DAIBAにて行われた。

受賞者: 新井 誠 (東京都精神医学総合研究所統合失調症研究チーム)

論文名: Enhanced Carbonyl Stress in Subpopulation of Schizophrenia.

掲載誌：Archives of General Psychiatry (67 : 589-597, 2010)

9. 国際学会発表奨励賞選考の件

国際学会発表奨励賞について、受賞者が以下の通り報告された。授賞式は学会賞と同様に5月21日に行われた。

< 2010年度後期 >

受賞者：久保田 学 (京都大学大学院医学研究科・脳病態生理学講座 (精神医学))

発表演題：Age-related cortical thinning in schizophrenia.

参加学会：Neuroscience 2010

受賞者：小池 進介 (東京大学大学院医学研究科精神医学分野)

発表演題：Inappropriate hemodynamic response in the individual with at-risk mental state.

参加学会：7th International Conference on Early Psychosis

10. WFSBP 報告 (武田理事長)

武田理事長より、以下の通り報告された。

① WFSBP 2011 Plague 参加の呼びかけ

2011年5月28日(土)～6月4日(金)に開催される大会について、Japan Nightを在チェコ日本大使館において開催するので、多くの参加が要望された。

② WFSBP 2013 Kyoto の準備状況

- ・日本神経化学会および日本神経科学会が開催するNeuro2013と連携することとなり、2013年6月19日(水)～23日(日)がNeuro2013、23日(日)～27日(日)にWFSBP2013と日本生物学的精神医学会年会が開催される。
- ・大会会長として、WFSBPのチボー理事長、Local Organizing Presidentとして武田理事長が就任する。
- ・SOBP(米国)からの参加は個人資格とする予定。

③ WFSBP 役員選挙について

平安理事がSecretary-Treasurerに就任した。

11. 新評議員選出の件

①本年度の新評議員候補として、14名が推薦されたことが報告され、会員歴・業績などの規定に合致していることが確認され、全員承認された。

②今後の評議員選出に際しては、現状の会員数と評議員数の比較から評議員数が若干多いとの指摘があり、今後、将来計画委員会において検討されることとなった。

12. 第33回学会準備報告 (加藤(進)会長)

第33回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期：2011年5月21日(土)～22日(日)

会場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京都)

会長：加藤進昌 (昭和大学医学部精神医学教室)

13. 第34回年会について (米田次期会長)

第34回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期：2012年9月28日(金)～30日(日)

会場：神戸国際会議場 (兵庫県) (予定)

会長：米田博 (大阪医科大学神経精神医学教室)

※日本神経化学会が主催するAsia-Pacific Neurochemistryと連合開催

14. 第35回年会について (武田理事長)

第35回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期：2013年6月23日(日)～27日(木)

会場：京都国際会議場 (京都府)

会場：尾崎紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科細胞情報医学専攻脳神経病態制御学講座精神医学分野)

※ WFSBP 2013と合同開催、NEURO2013と同時開催

以上にて閉会